

事 務 連 絡
令和 7 年 3 月 6 日

関係業界団体 各位

国土交通省海事局内航課

船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！
～中・長距離フェリー、RORO 船及び内航コンテナ船に係る積載率動向について～

国土交通行政の推進につきましては、日頃より格別の御協力をいただき、御礼申し上げます。

令和 5 年 6 月 2 日に、我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議が取りまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」において、「トラック長距離輸送から鉄道や船舶へのモーダルシフトを強力的に推進し、最適なモードを活用したモーダルコンビネーションの展開を図るために、～（中略）～フェリー積載率についての定期的な調査・荷主企業等への情報提供を行い、利用可能な輸送力について周知することにより、鉄道や船舶の利用促進及び積載率の向上を図る」とされています。

これを受け、国土交通省海事局では、中・長距離フェリー、RORO 船及び内航コンテナ船に係る積載率の動向を調査し、その結果を令和 5 年 8 月より公表しております。

この調査は、中・長距離フェリー事業者、RORO 船事業者及び内航コンテナ船事業者へのアンケート調査により、対象期間中（今回は令和 6 年 10～12 月）の中・長距離フェリー、RORO 船、内航コンテナ船に係る積載率動向の概算値を算出したものであり、今後も随時調査を実施し、その結果を公表してまいります。

貴団体におかれましては、モーダルシフトの更なる推進や、いわゆる「2024 年問題」対策の一助として中・長距離フェリー等を活用した輸送について検討いただけるよう、事業者の皆様への周知にご協力をお願いいたします。

【添付資料】

中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について（令和 6 年 10 月～12 月）
RORO 船のトラック輸送に係る積載率動向について（令和 6 年 10 月～12 月）
内航コンテナ船の輸送に係る積載率動向について（令和 6 年 10～12 月）